

## 種目【 書写 】調査研究資料

調査項目	着眼点	調査の方法
<b>1 学習指導要領</b> (平成 29 年告示)  ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1) 資質・能力の三つの柱(「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養)をバランスよく育成	・「文字を書く技能を身に付ける教材」「文字や言葉の知識を身に付ける教材」「今日的な課題を題材とした教材」それぞれが、各学年にどれくらいの分量で位置付けられているか。
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	・初めて文字を書く学習に取り組む1年の学習内容はどのようなものであるか。 ・初めて毛筆の学習に取り組む3年と、それに続く4年の学習内容はどのようなものであるか。
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	・書写の学び方、学習の進め方がどのように示されているか。
<b>2 岐阜県教育振興基本計画</b> (平成 31 年 3 月策定)	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	
	(2) ICT を活用した学習活動の充実	・ICT機器を活用した学習について、どのような学習内容が取り上げられ、程度や分量はどのようなものであるか。
	(3) 多様な学びを支援する教育の充実	・書写の学習を実生活等へ結び付ける発展的な言語活動はどのような内容で、どの程度の分量であるか。 ・適切に運筆する能力の向上につながる、補充的な指導内容はどのように工夫されているか。
<b>3 印刷・製本等</b>	(1) 教科書の厚み、重量	・教科書のサイズ、総ページ数、重量はどのようなものであるか。
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	・児童の多様な特性に応じた読みやすいものになっているか(フォント、配色、レイアウト、利き手への対応等)
	(3) 上記以外の使用上の便宜	・注、凡例、手本の示し方、練習教材等は、どのような特徴があるか

「調査項目」、「着眼点」の根拠
<b>■小・学習指導要領解説総則編 P 3 4</b> 各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力の観点 (1) 知識及び技能の習得 (2) 思考力、判断力、表現力等の育成 (3) 学びに向かう力、人間性等の涵養 <b>■小・学習指導要領解説総則編 P 4 8</b> 各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること <b>■小・学習指導要領解説総則編 P 7 6</b> 資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めること
<b>■岐阜県教育振興基本計画 第3次岐阜県教育ビジョン基本方針 P 1 0</b> 1-①、⑥ 3-⑫、5-⑳ 2-⑦~⑩

